

■児童・生徒の学力の状況

- 「全国学力・学習状況調査」の結果から、記述式問題に関する正答率が各教科とも東京都と比べて低く、自分自身の考えを根拠に基づいて表現することに課題が見られる。
- 本校独自の「学習への取り組み状況調査」の結果から、授業内容の理解度は高いものの得意と回答した生徒は少なく、学習への自信を高める指導が求められる。

■授業革新推進に向けた、指導上の課題

- 板橋区授業スタンダードSを基盤とし、ICT端末等を活用しながら「自己選択」「自己決定」「自己調整」を取り入れ、個別最適な学びと協働的な学びを一体的に展開すること。
- 単元や本時の「ねらい」を生徒と共有し、対話や振り返りを通して「自ら問いを立て、考えを形成・表現する力」を各教科で育成すること。

■学校経営方針より（学力向上に関わる内容から）

- 人間尊重の精神を基調とし、「MIRAI SCHOOL いたばし」が目指す「5つのチカラ」をはぐくみ、郷土を愛し持続可能な社会の創り手として自律的に行動できる生徒を育成する。
- 「板橋区授業スタンダードS」の確実な実践を通して、単元配列表を活用した教科横断的な学習（探究学習等）を展開し、自ら問いを立て解決に向かう主体的・対話的で深い学びを推進する。
- タブレットPCやデジタル教科書、「すららドリル」等を活用した個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実を図り、生徒一人ひとりの「読み解く力」や思考、表現力を高める。
- 小中一貫教育の視点に基づき、学びのエリア内での共通した学習規律・生活規律の定着と、体験的・協働的な交流活動を通じた確かな学力の定着を図る。

■確かな学力の育成に向けての具体的な方策

視点1 板橋区授業スタンダードの徹底、及び 板橋区授業スタンダードSの取組	視点2 ICT環境の適切な維持と活用 個別最適な学び・協働的な学びの実現	視点3 総合的な学習の時間との連携
○選択や自己調整を取り入れた学習活動を一部授業で導入し、ICTを活用して振り返りを充実させる。教員は伴走者として学びを支援し、校内での実践共有を進める。	○一人一台端末やデジタル教科書、「すららドリル」等の効果的活用により個々の習熟度に応じた「個別最適な学び」を推進するとともに、互いの考えを共有・集約する場を設定し「協働的な学び」の充実を図る。	○各教科で培った知識や思考力を総合的な学習の時間に生かせるよう、教科横断的な視点をもとに課題を設定し、探究活動と結びつける。学びの関連性を意識させる授業を展開していく。

■MIRAI SCHOOL いたばし-教育ビジョン2035- -アクションプラン2028-の実現に向けた具体的な取組

保幼小接続・小中一貫教育の推進	豊かな心と健やかな体の育成	多様な教育的ニーズへの対応
○総合的な学習の時間において探究的な学習を進めることで、小中を通じて「持続可能な社会に向けて自分たちができること」を考えさせ、今後の板橋のあり方について主体的に考えていく。	○安全計画に基づき生活・交通・災害安全指導や点検・研修を徹底し、地域と連携した防災の取組等を通じて危険回避能力や「自助・共助・公助」の意識を高める。	○特別支援校内委員会を核として個別の合理的配慮や日本語指導を計画的に推進し、多様な背景をもつ生徒一人ひとりの確かな学びを保障する。
○小中一貫教育コーディネーターを中心に合同研修や児童生徒の交流活動を推進し、引き継ぎや個別指導計画等を有効活用して9年間の連続性のある指導を徹底する。	○「生命の安全教育」の推進、薬物乱用防止教室、セーフティ教室、道徳でのいじめ防止授業等を計画的に実施し、専門機関と連携した具体的な指導を通して、規範意識の向上を図る。	○不登校対応ガイドラインに基づきSCやSSW、不登校巡回教員との連携、校内居場所づくりを推進し、登校に課題を抱える生徒一人ひとりに寄り添った組織的支援を行う。